

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	40a	・運営推進会議がコロナ禍において当面の間文書開催となり、会議の参加メンバーから十分に意見や要望が聞き取れていない。また、外部評価時、地域の方々からのアンケートの返信が無く、会議の参加メンバーが文書開催が続いて、運営に対して活動状況が分かりづらく意見が出しにくいと分かった。	・コロナ禍においても、運営推進会議の参加メンバーに、会議に参画している意識を持ち続けてもらえるように、会議の開催の仕方、意見や要望の聞き取り方を工夫していく。	・コロナウイルス感染症の状況を見ながら、同日開催の小規模多機能ホームと連携して、文書開催・施設開催についての判断を柔軟にしていく。 ・文書開催時には、会議の参加メンバーに資料を訪問にてお渡しし、意見や要望を聞き取る。 ・施設開催の決定時には、家族やグループホーム交流会の施設に参加をお願いする。	6 か月	
2	49d	・運営推進会議がコロナ禍において当面の間文書開催となり、サービス評価について家族や運営推進会議の参加メンバーにモニターしてもらっていない。また、目標達成計画作成に掲げた取り組み経過や成果について、振り返りや確認が行えていない。	・サービス評価について、運営推進会議の参加メンバーや地域、家族にモニターしてもらい、出された意見がサービスの質の向上に活用出来るようになる。	・家族に、毎月発送している手紙を活用して、運営推進会議の目的を伝える。また、目標達成計画と、経過を報告する。アンケートにて、意見や助言を頂く。 ・運営推進会議のテーマに取り入れ、目標達成への取り組み経過を伝え意見や助言を聞き取る。文書開催時は、アンケートにて意見や助言を聞き取る。	6 か月	
3	16e	・職員は、更衣や食事後に、利用者の整容の乱れを直したり、カバーしている。しかし、服装が乱れたままであったり、髪型が崩れたまま過ごしている利用者へのさりげないサポートが出来ていない。また、ミキサー食の食べこぼしなどに気づかないまま時間が経過してから、職員が気づく事があり、職員間で整容の意識に差が見られる。	・職員一人一人が、利用者の整容の乱れ、汚れ等に対し、プライドを大切にできさりげなくカバー出来るようになる。(髭、着衣、履き物、食べこぼし、口の周囲等)	・ミーティングを活用して、利用者の身だしなみやおしゃれの支援について職員間で話し合いを持ち、職員が意識できさりげないサポートが出来るよう取り組む。 ・職員間で日々の申し送りや、申し送りノートを活用して気づきを発信する。	6 か月	
4					か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()